

89 流行曲ってなんだろう？

Features of popular songs

要旨 流行曲の共通点を探し、流行する曲の特徴を追求した。研究方法1よりキャッチーな歌詞がある曲は記憶に残りやすく流行しやすいという傾向にあり、研究方法2より流行曲の音域は年々高音域になっていることがわかる。また、研究方法3よりハスキーな歌声の曲が流行しやすいと考えられる。以下のことよりキャッチーな歌詞があり、高音域、ハスキーな歌声の曲が流行曲となる傾向にある。

Abstract We looked for commonalities among popular songs and pursued the characteristics of songs that become popular. Analysis 1 shows that songs with catchy lyrics tend to be more memorable and popular, and Analysis 2 shows that the range of popular songs is becoming higher every year. Analysis 3 also shows that songs with husky singing voices are more likely to become popular. From the following, songs with catchy lyrics, high voice range, and husky singing voices tend to become popular.

1 研究背景と研究目的・意義

1.1 研究背景

私たちは、フォークソング部に所属していて、ひいらぎ祭でもっとお客さんを楽しませるには、流行曲を演奏することが大事であると考え、流行曲の特徴や共通点を知りたいと思った。そこで、流行曲を「歌声」と「歌詞」という二つの観点で分析し、流行曲の条件を明らかにすることを目的として研究を行った。私たちは、次のような仮説をたて、研究を始めた。

1.2 リサーチクエスチョンと先行研究・事例

どんな歌詞、どんな歌声が流行曲の条件となるのか。高音が多く歌唱力が必要な曲、キャッチーな歌詞のある曲は流行する。先行研究として、和光大学でテキストマイニングによる saucy dog の歌詞分析が行われており、聴く人に寄り添う歌詞や共感できるような歌詞が若者に人気であるということが考察されている。

1.3 研究の目的・意義

多くの人に音楽に親しみを持ってもらおう。

歌声と歌詞の二つの視点から流行曲の条件に付いて明らかにする。

流行曲の研究を行うことによって、ある曲が流行った背景となるその時代の経済動向や当時の価値観を知ることができる。

1.4 仮説とその根拠

高音が多く、歌唱力が必要な曲、キャッチーな歌詞のある曲は流行する

2 研究方法1 ワードクラウド

2.1 研究の目的とリサーチクエスチョン・仮説との関係

「キャッチーな歌詞のある曲は流行する」という仮説を立てた。この仮説を立証させるために、近年9年間の流行曲をワードクラウド用いて頻出単語を確認する。

2.2 研究と分析方法

AI テキストマイニングを用いて、ワードクラウドで頻出単語を視覚的に確認した。

ワードクラウドとは文章中で頻繁に現れる単語を、その出現頻度に応じて文字の大きさを覚えて視覚的に表現する手法のことだ。

その際に流行曲とした扱った曲は以下9曲だ。

- 2016年 恋/星野源
- 2017年 前前前世/RADWINPS
- 2018年 lemon/米津玄師
- 2019年 マリーゴールド/あいみょん
- 2020年 白日/King Gnu
- 2021年 ドライフラワー/優里
- 2022年 残響散歌/Aimer
- 2023年 アイドル/YOASOBI
- 2024年 ライラック/Mrs. GREEN APPLE

これは2016-2024年のビルボード上位曲（各年一曲、計九曲）である。
結果に偏りが出ないように、アーティストの重複、ボーカルの性別に注意して選別を行った。

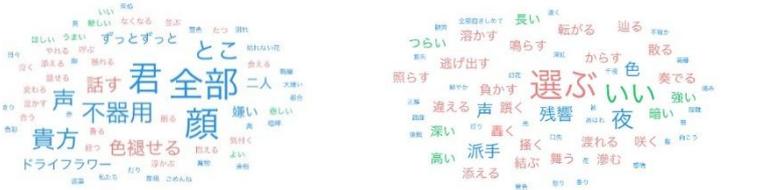
2.3 結果



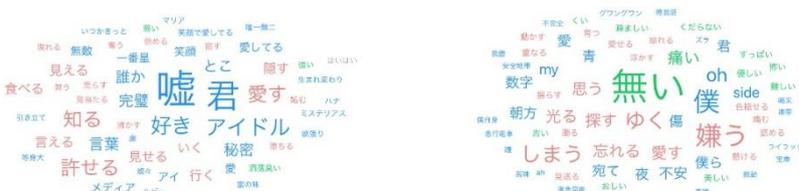
2016年 恋/星野源 2017年 前前前世/RADWINPS 2018年 Lemon/米津玄師



2019年 マリーゴールド/あいみょん 2020年 白日/King Gnu



2021年 ドライフラワー/優里 2022年 残響散歌/Aimer



2023年 アイドル/YOASOBI 2024年 ライラック/Mrs. GREEN APPLE

2.4 考察

キャッチーな歌詞が多い

2016年/恋(星野源)「夫婦を超えてゆけ」、「二人を超えてゆけ」、「一人を超えてゆけ」という歌詞や、2017

年/前前前世(RADWIMPS)曲名にもなっている「前前前世」という言葉が曲中にたびたび登場しとても印象的である。他の研究曲も印象的な歌詞を含んでいるものが多い。

「僕」、「君」、「あなた」などが多用されている

ワードクラウドより 2017 年/前前前世(RADWIMPS)、2019 年/マリーゴールド(あいみょん)、2021 年/ドライフラワー(優里)、2023 年/アイドル(YOASOBI)には「君」が、2018 年/lemon(米津玄師)には「あなた」、2024 年/ライラック(Mrs. GREEN APPLE)「僕」という歌詞が多く出てきている。このことから、流行曲では人称代名詞(人やものを指し示す際に使われるもの)が多く使われている。(例:私、自分、俺)

3 研究方法2 高音域

3.1 研究の目的とリサーチクエスチョン・仮説との関係

リサーチクエスチョンにて「高音が多く歌唱力が必要な曲」は流行するという仮説を立てた。この仮説より流行曲は音域が広い曲ということを立証するために研究を開始した。

3.2 研究と分析方法

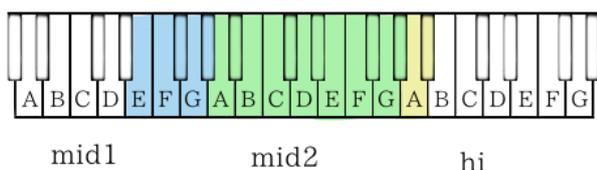
研究方法1で上げた流行曲9曲を引き続き流行曲として扱い、これらの曲の音域を確かめた。

3.3 結果

一般的な男性の音域 lowG-mid2G

一般的な女性の音域 mid2G-hiC と定義してそれをもとに考察を行う。

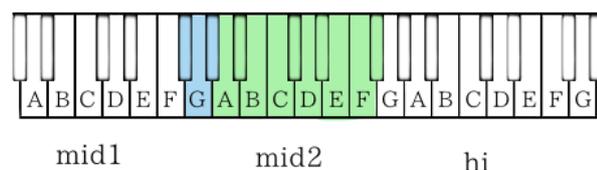
2016 恋/星野源



地声最高音は mid2F#となっている。それ以上の高音はすべて裏声である。

この曲はどちらかと歌いやすいような音域であり、高音が多く見られるわけではない。

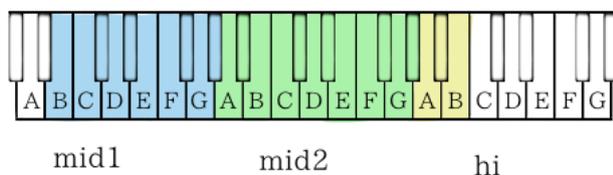
2017 前前前世/RADWIMPS



地声最高音は mid2F#となっている。それ以上の高音見られない。

この曲もどちらかというと歌いやすいような音域であり、高音が多く見られるわけではない。

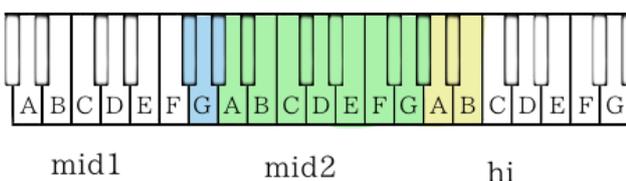
2018 Lemon/米津玄師



地声最高音は hiB となっている。裏声最高音も同様に hiB である。

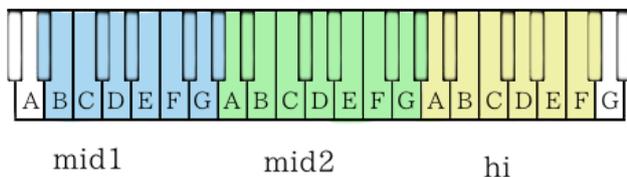
この曲は一般男性音域に比べ2音高い音域で曲が作られている。

2019 マリーゴールド/あいみょん



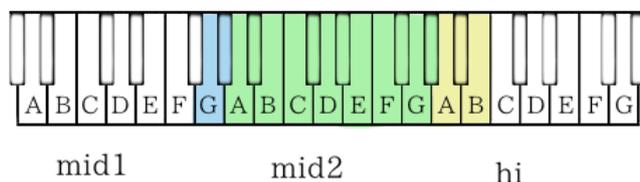
地声最高音は hiB でとなっている。裏声は見られない。
 この曲は一般女性音域内の音で構成されており、高音が多く見られるわけではない。

2020 白日/King Gnu



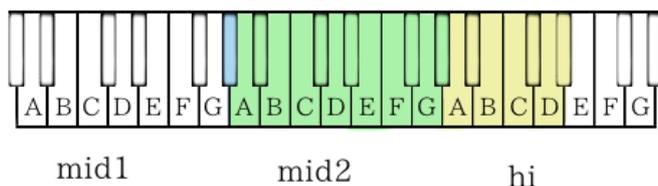
地声最高音は hiB となっている。これは一般男性音域を 2 音超える。
 また、裏声は最高音が hiF# となっているため一般男性音域を 6.5 音超える一般男性音域をはるかに超える音域で構成されている。

2021 ドライフラワー/優里



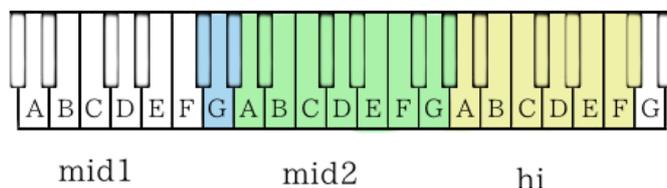
地声最高音は hiA となっている。これは一般男性音域を 1 音超えている。
 また、裏声最高音は hiC となっている。全体的にキーは高めで、一般男性音域を超えた曲となっている。

2022 残響散歌/Aimer



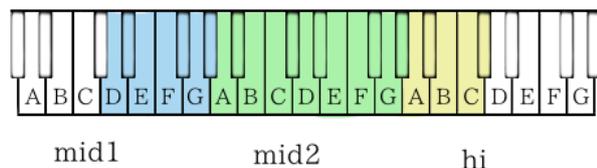
地声最高音は hiC# となっている。これは一般男性音域を 0.5 音超えている。
 また、裏声最高音は hiD# となっている。
 一般女性音域を超えた曲となっている。

2023 アイドル/YOASOBI



地声最高音は hC# となっている。これは一般女性音域を 0.5 音超えている。
 また、裏声最高音は hiF# となっており、一般女性音域を超える音域で構成されている。

2024 ライラック/Mrs. GREEN APPLE



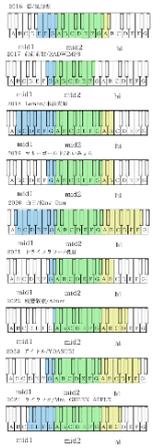
地声最高音は hiB となっている。これは一般男性音域を 2 音超えている。

また、裏声最高音は hiC# となっており、一般男性音域を超えた音域で構成されている。

これらの結果をまとめると、9 曲中 6 曲で一般席な音域を超えている。このことより、高音がみられる曲は流行りやすいのではないかと考察した。これは男性女性と性別ごとに一般的な音域を定義して結果を出した。これを男性女性という枠を外し、考察する。

右図のように縦に並べると、年々 hi 音域が広がっていることがわかる。

これを見ても音域が広い曲が流行しやすいのではないこと結論付けることができる。



4 研究方法3 曲分析

4.1 研究の目的とリサーチクエスト・仮説との関係

「どんな歌声が流行曲の条件となるのか」というリサーチクエストを立てた。このリサーチクエストを解明すべく流行曲の歌声に注目し研究を進めた。

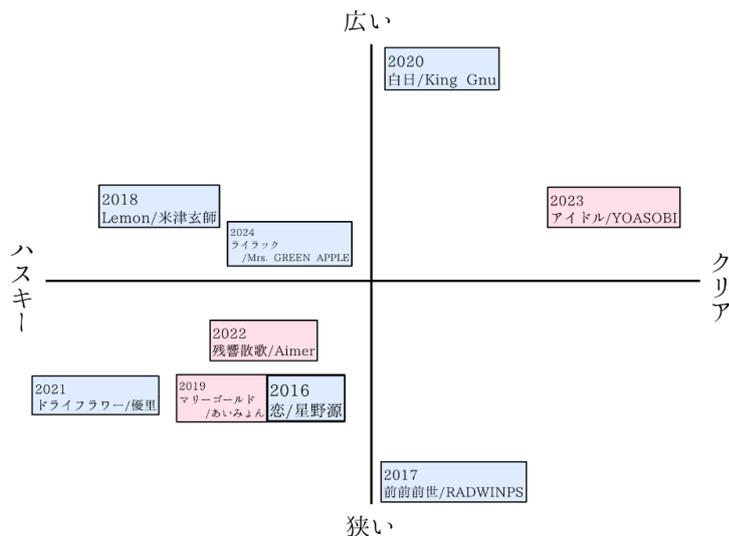
4.2 研究と分析方法

研究方法1の際に定めた流行曲9曲を用いて、流行曲の歌声を分析した。また、歌声を分析するとともに研究方法2の音域を交えて流行曲の特徴により迫っていった。

分析方法としては、曲を聴き、その曲の歌声について考察し、座標軸上に結果を落とし流行曲の特徴を導き出した。

4.3 結果

(赤と青はボーカルの性別ごとに分けている。)



上の座標軸を用いることで流行曲はハスキーな歌声が多いという傾向がみられる。また、男性ボーカルの楽曲では音域が広い曲が近年流行っているという傾向がこの表から見受けられる。しかし、女性アーティストは男性に比べ音域が狭い曲のほうが流行しやすい傾向にある。しかし、該当する楽曲は2曲のみであり全体で女性アーティスト3曲であり、数が不足しているため必ずしも女性アーティスト流行曲が音域が狭いとは言えない。

これらの結果をまとめると流行曲にはハスキーな声の曲が多く見られるということが分かった。

5 研究方法4 アンケート

5.1 研究の目的とリサーチクエスト・仮説との関係

ここまで私たちは流行曲になる条件を見つけるために、ワードクラウドや座標軸を活用して研究してきたが、実際に音楽を聴く私たちの音楽観に興味を持ち、流行曲になにか影響を及ぼしているのではないかと考えた。そこで、どのような曲を好む傾向にあるのかについて知るために、アンケートを実施した。

5.2 研究と分析方法

5月7日～28日の期間、半田高校3年生62人を対象に次のようなアンケートを行った。

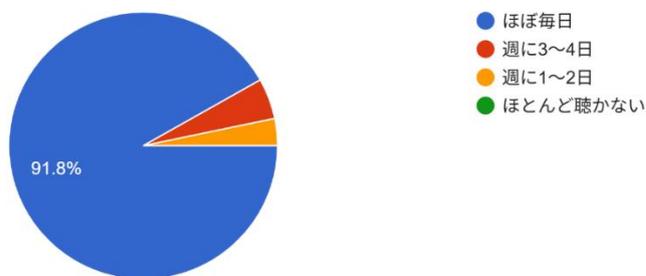
- 質問1. 一週間に何回の頻度で音楽を聴きますか？
- 質問2. あなたはいつ音楽を聴きますか？
- 質問3. 音楽を聴くときに一番大事にすることは？
- 質問4. あなたの好きなアーティストは？
- 質問5. どうしてそのアーティストが好きなのですか？

5.3 結果

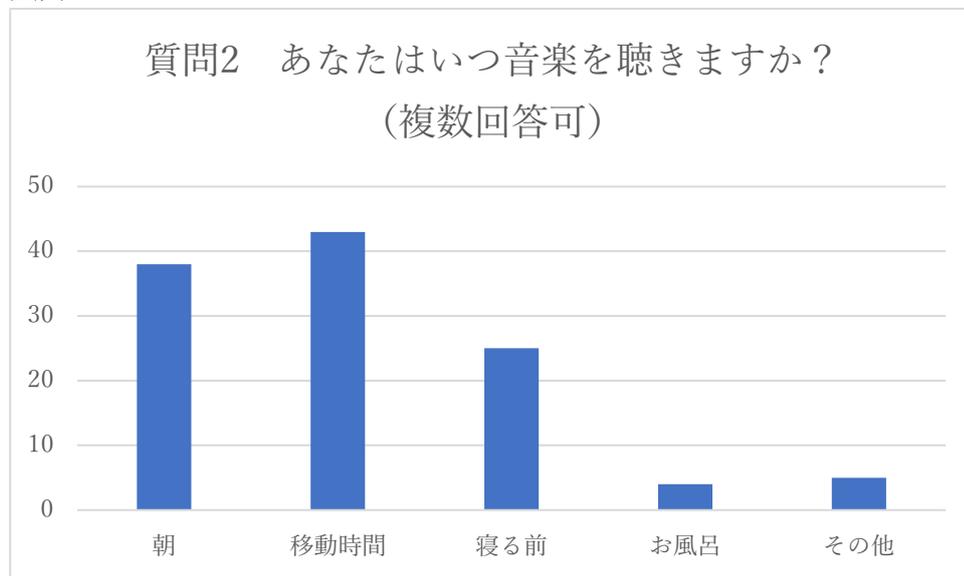
質問1

一週間に何回の頻度で音楽を聴きますか？

61件の回答

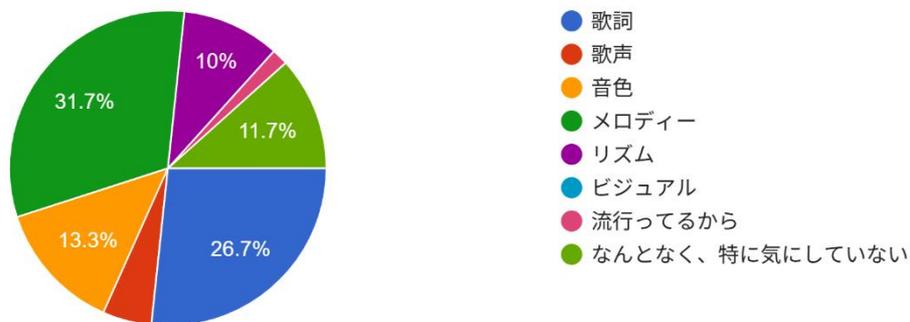


質問2

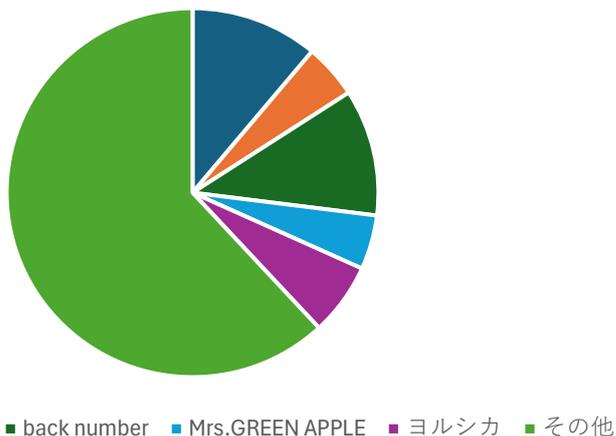


質問3

音楽を聴くときに一番大事にすることは？
60件の回答

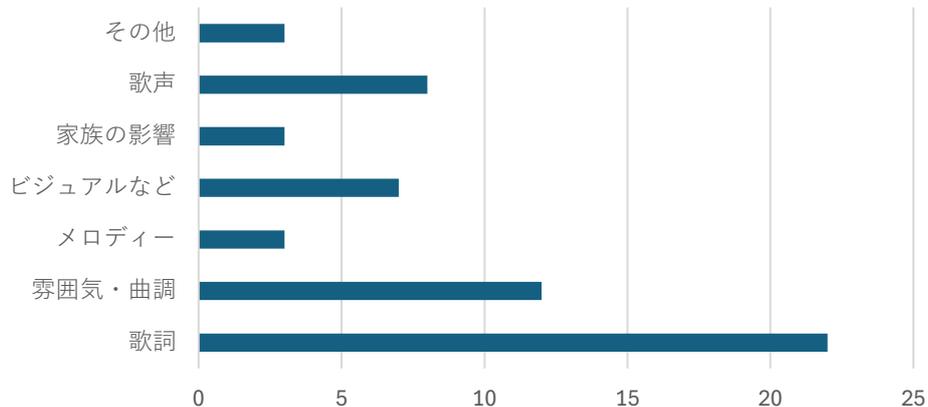


質問4 あなたの好きなアーティストは？



質問5

質問5 なぜそのアーティストが好きなのですか？



アンケート結果から、多くの人が普段から音楽を聴く傾向があり、朝や移動時間によく聴くことが分かる。曲を聴くタイミングから、聴きやすい歌声や、前向きな歌詞の曲が好まれるのではないかと考察した。また、多くの人が歌詞やメロディーを重視しており、歌声を重要視する人は少ないことが分かった。好きなアーティストとして多く挙げたヨルシカや back number も歌詞を重要視する人が多かった。また、K-POP アイドルや坂道アイドルなども複数挙げられたため、ビジュアルも音楽の流行の要因なのではないかと考察した。

6 結論と今後の展望

6.1 結論

- ・ 2020 年以前までは歌いやすさや聴きやすさが重視される曲が流行っていたが、現在は高音域など実力重視で圧巻されるような曲が流行るようになってきている
2016 年/恋(星野源)、2017 年/前前前世(RADWIMPS)など 2020 年以前は高音が少なく、比較的音域が狭い歌いやすい曲が流行する傾向にあったが、2020 年/白日(King Gnu)、2023 年/アイドル(YOASOBI)、2024 年/ライラック(Mrs. GREEN APPLE)などの高音域のアーティストが増えており、2020 年頃から男女ともに歌いやすい曲よりもハイトーンボイスなどのテクニックのいる曲が流行している。
- ・ キャッチーな歌詞がイメージしやすく、振り付けするなどして「TikTok」などの動画アプリで流行する傾向にある
2017 年/前前前世(RADWIMPS)「君の前前前世から僕は…」などの記憶に残る歌詞は曲の背景をイメージしやすく、有名な TikToker などが振り付けをして「TikTok」などの動画アプリに投稿し、様々な人がその振り付けを踊ったものを投稿することでいろんな人の目に留まり流行する。
- ・ タイアップ曲は歌詞に関連性をもたせており、共感を得やすい傾向にある
タイアップ曲とはテレビ番組や CM、映画などにおける主題歌や CM ソングなどの商品や番組とコラボレーションして制作・使用される楽曲のことである。タイアップされている曲は聴くとその番組や CM を思い出すような歌詞やメロディーになっており、視聴者に強い印象を与え、共感を呼ぶようなものが多い。

6.2 今後の展望

研究を行って、流行曲となる条件が共感しやすい歌詞やハスキーな歌声などがあげられることが分かった。この研究は私たち高校生が行い、また、研究対象も高校生であるため、年齢によってこの条件が通用するとは限らないと感じた。よって、年齢層による音楽観の違いや好みの違いを調べることができるとどの年代にも受け入れられるような、常に流行するような人気曲へと導くことができるため、学びを深めていきたい。

7 謝辞

アンケートに協力していただいた方々やアドバイスをしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

8 引用文献・参考文献

<https://textmining.userlocal.jp/>

https://vocal-range.com/#google_vignette

https://www.msi.co.jp/solution/stuaward/2022/TMS_5.pdf